

令和7年度 福岡県支部総会及び講習会（開催報告）

北部九州の梅雨明けは例年より20日程早まり、以降暑い日が続いております。開催日7月26日(土)も36℃の猛暑の中、福岡市博多区の中華料理「頤和園」で総会・講習会を開催しました。

福岡県支部会員64名中、この猛暑の中22名の同窓の皆様に参加いただきました。2学部全学科の県内在住されている同窓(一般会員)にも案内通知を出し、獣医学科卒以外の出席者3名、会員加入者5名と徐々に増加傾向にあります。

今回の講演会は、会員からの要望で 平 健介 先生(麻布大学獣医学部獣医学科寄生虫学研究室 教授)をお迎えして「寄生虫ってまだあるの?」及び「大学の現状とこれから」について講演いただきました。未だ現存する寄生虫の現状と人獣共通寄生虫病について、また虫卵検査法など広く講義いただきました。大学の近況については、創立150年を見据えた取り組みを紹介いただき、「選ばれる学びの場」創りへの総合的なプロセスに聴き耳をたてたところでした。総会・講演会終了後の懇親会は、平先生にもご挨拶いただき、最長老の大坪俊英様(昭和39獣科卒)の乾杯の音頭で開始し、途中各自の自己紹介、そしてお決まりの寮歌斉唱を応援団顧問でもある平先生や応援団出身同窓会員の音頭で、懐かしく大声を上げるなど楽しいひと時を過ごすことができました。最後は最若手の友清帝様(平成26年動物応用科卒)の締めで終宴と致しました。今後も同窓会支部維持発展のため、全学科同窓の皆様の声掛けして、会員増数と大学情報の相互共有化を図り、開かれた麻布大学同窓会福岡県支部として取り組んでいくことを申し合わせて終了いたしました。

(福岡県支部)

